第８回中学生のスポーツ・文化活動の地域展開検討会議要旨録

令和6年８月２７日（火）

１．開会
２．会長あいさつ
３．第７回要旨録の確認
　修正意見なし
４．報告事項
　種目ごとの協議報告
５．議事
　多可町中学生のスポーツ・文化活動の地域展開ガイドライン（案）について

【地域団体グループ】

- 「新たな地域クラブは、学校部活動を地域展開するものではなく、中学生がスポーツ・文化活動に親しめる環境を新たに整えていくものである…」とは、今の部活をやめて、新しいものを作っていくと書いてあるが、今の部活を引き継いでいく地域クラブもあると思う。引き継ぎが難しいのではないか。
- 「地域クラブの活動は、技術の向上を目的とした指導を行うものだけではなく…」という表現は、スパルタにするのではなく「楽しくやる」というふうに感じ取ったが、やるからには目的意識を持ってやらないといけないし、時間も無駄になってしまう。
  目的を持つことによって技術も磨かれ、強くなり、楽しくなっていくと思う。
- 「指導者の質の保障」のところで、スポーツ指導者の質の保障の記載はあるが文化指導者の質の保障の記載がないのではないか。
- 「適切な休養日等の設定」について、子どもがスポーツ・文化活動をやりたいということであれば、制限をなくしてしまってもいいのではないか。
- 施設の利用料について、料金のことを決めていただきたい。
- 「適切な会費設定と保護者等の負担軽減」について、料金は、「スポ・カルたか」が決めるのか、指導者が決めるのか、どちらなのか。
- 町バスやスクールバスを利用することがあるが、利用できるかできないかで会費に影響が出るのではないか。
- 大会などへの参加の引率や運営に係る体制の整備について、指導者にとっては負担が大きいのではないか。

【学校グループ】

- 教員の兼職兼業について、実際に町内で部活での兼職兼業の事例はないが、社会教育事業での兼職兼業はある。放課後の部活動を行っている勤務時間中に兼職兼業を出して地域クラブに指導に行くことはできない。本来の勤務をきちんとしなければならない。

- 教員として地域クラブに出るのではなく、あくまでも地域の指導者。教員は仕事としてやっていくことが大事。
- 平日の活動に関して、教員が指導者として活動することは、放課後は無理なので、夜の活動になるのではないかと考える。休日の活動にシフトしていくのでは。
  平日の夜・休日であれば、教員の兼職兼業も考えられる。
- 「活動内容」について、部活動だけではなく、休日の教室やキャンプなどにも参加していくことも含めて子どもたちの複数の活動を認めていくと同時に、そういったものを推進させていくのはいいが、どこまで書くのかは検討が必要。
- 「適切な休養日等の設定」について、週１１時間が限度ということを運用するのも一つの手ではないか。
- 地域クラブの公認制度について考えてはどうか。子どもたちとうまくいかないとか、続けられないクラブが出てきた場合、いったん認定を外す仕組みであったり、やり直しであるとか必要ではないか。
- 放課後、クラブの時間までの過ごし方を子どもたちに考えさせ、いろんな工夫をさせて、どんな活動がしたいかを子どもたちがデザインしてもいいのでは。
- 今の小６が中学校に入学し、先輩が引退したら自分たちは２年生だけど、部活がなくなる。そのあたりがどうなるのか、ユニフォームをどうするかなど、保護者から心配が出るのではないか。
- 中体連との関わりについて、吉田卓球場さんのように加盟のクラブが残っている間、今、学校の先生が中体連を運営しているので、学校の先生の関わりもどうするのか。

【ＰＴＡグループ】

- 「…生徒のニーズに応じた種目の提供、複数の運動種目・文化活動に取り組める選択肢の提供、質の高い指導者の確保等に取り組む」とあるが、「多可町」が取り組むのか、「スポ・カルたか」が取り組むのか、内容によっては責任の明確化ができていないところがあるので改善していただければ。
- 費用について、多可町・指導者・保護者などのバランスがとれれば。
- 継続性について、始めることは書いてあるが、指導者が異動されたときや、いなくなったときに、地域クラブがなくならないように整備ができるのか。
- 送迎・時間帯について、もう少し記載があってもいいのでは。
- 自然条件の把握について、災害や警報がでたときの対応などの記載があってもいいのでは。

【その他】

Q. 夜にクラブ活動をする場合、夜の遅い時間帯に自転車で帰ったりするのは問題ないのか。

A. 塾に自転車で行ったりする子もいる。あまり安全なものではないが、任せているところもあるので、心配な点ではある。

Q.　適切な休養日等の設定について、「子どもたちがスポーツや文化活動をしたいなら、制限をなくしてもいい」とは、具体的にどのようなイメージですか。
A.　もっと練習したいけどダメですか。という話が子どもたちから出ている。

⇒　クラブチームには、チームとして活動して公式試合などをしたり好きにやっていて、そこに賛同した保護者さんや子どもたちが活動を決めて、怪我してもいいですよ。というポリシーの元で、やっているところもある。
今回は町として学校教育ではないが、やっていこうとする場合はどうするか。
学校の先生がきちんとやっていたら、時間の制限はなかった。
大人は「子どもが言った」と言って、どんどんやりたがる。これがいままでの部活動。
みんなが良識的に子どもの体・健康のことを考えればよかったが、できなかったのでルール化されている。そこを、どう捉えるか重要な議論ではないか。

【事務局より】
・ガイドライン（案）について、次回の検討会議で修正したものを提示する。
・広報たか９月号掲載予定記事について説明。
・多可テレビでの広報について説明。
・次回の検討会議では、野球・サッカー・剣道などとの協議内容の報告ができるよう進める。

６．次回日程
令和６年１０月２９日（火）19:00～21:00